

第千 幸受 2023年(令和5年)2月25日(土曜日) みやぎ

# 広域防災拠点完成32年度

## 知事表明 20年度から3回目延期

県議会2月定例会は24日、代表質問を行った。県が仙台市宮城野区のJR仙台貨物ターミナル駅の敷地に計画する広域防災拠点について、村井嘉浩知事は整備完了が「2026年度以降」から「32年度」にずれ込む見込みと明らかにした。当初20年度とされた完成時期の延期は今回で3回目。現時点で324億円の事業費も膨らむとみられ、23年度中に公表する予定。

県によると、JR側が駅移転先の同区岩切地区で行った現地調査で、新たな地盤対策工事などの必要性が判明。移転完了が3年延びて29年度に先送りされたことに伴い、広域防災拠点の本格整備の着手も遅れることが今年1月、改めて確認されたという。

村井知事は「このような事態になり、大変申し訳なく思っている」と陳謝した上で、幹線道路とのアクセス性などから計画通りの整備の必要性を強調。「1年でも前倒しできるような努力する」と理解を求めた。

県が昨年12月に中間案を公表した県営住宅などの集約方針が取り上げられた。耐用年数を迎える建物の廃止を目指す県の考えに対し、住み慣れた環境を維持する観点から建て替え計画の策定を求める意見が出た。

知事は「(東日本大震災後)県内には災害公営住宅が建てられ、新たな公営住宅の整備を積極的に進める状況にない」と説明。集約方針通り、建て替えをしない考えを示した。

知事は23年度、児童養護施設を退所した若者の実態調査に乗り出す意向も表明した。23年度一般会計当初予算案に300万円を計上しており、10代後半〜20代を対象に必要な支援策などを調査、検討する。

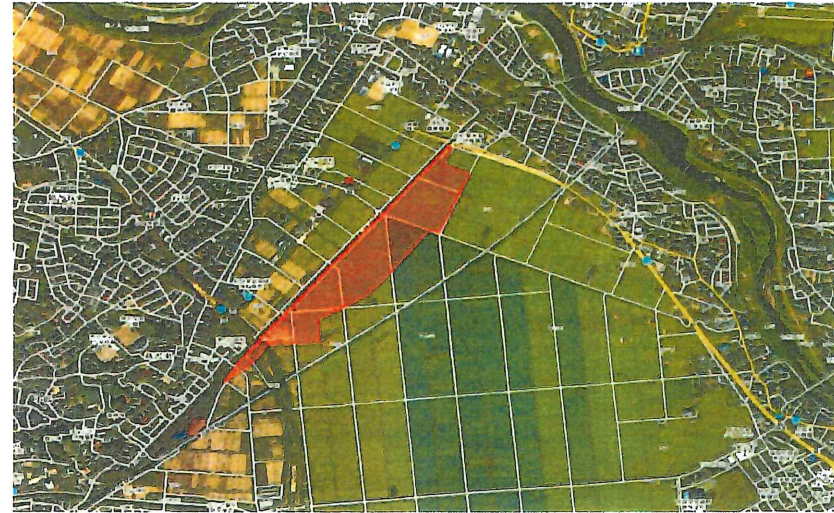
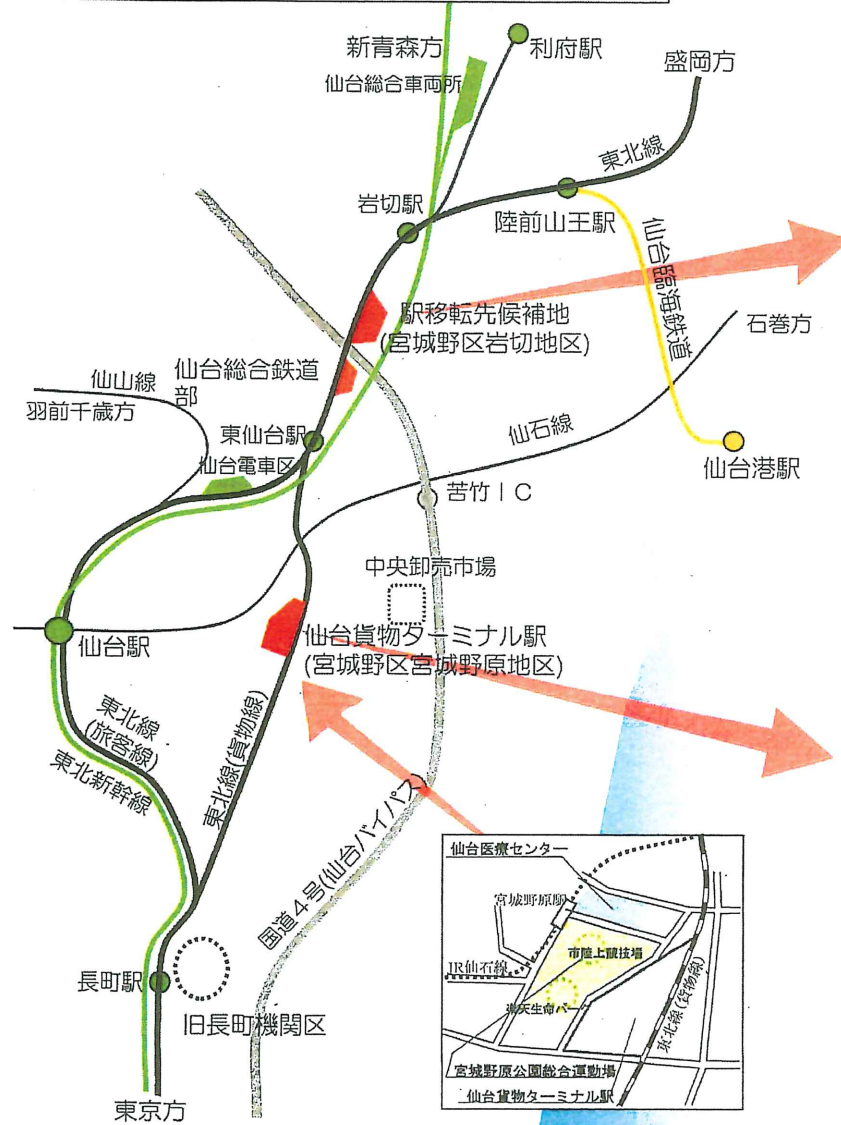
中山耕一(自民党・県民)

遊佐美由紀(みやぎ県民の声) 福島一恵(共産)

党県議団)の3氏が質問した。



# 仙台貨物ターミナル駅の位置



© Japan Freight Railway Company